

平成31年 埼玉県校友会 学術講演会と新年会

平成31年1月27日（日）埼玉県校友会の学術講演会と新年会が、さいたま新都心のホテル・ブリランテ武蔵野において午後2時より開催された。

新年会に先立ち、恒例の「学術講演会」が岡本順孝県校友会常任理事（74回）の司会のもと、講師に戸原 雄 口腔リハビリテーション多摩クリニック 医長（94回）を迎え「口腔機能不全症と多摩クリニック」との演題で行われた。講演は口腔機能不全症、低下症の基礎から臨床、対処方法等について詳細に解説していただいた。講演終了後には質疑応答が行われ、黒須壽郎県校友会副会長（66回）より謝辞が述べられた。その後会場を移し午後4時より「新年会」が開催された。

新年会は県校友会の蓮見和久福祉厚生副部長（76回）の司会のもと、初めに校歌斉唱が行われた。次いで中田裕之県校友会副会長（68回）の開会の辞に続き、小谷田 宏 県校友会会長（61回）より主催者挨拶が述べられた。ここでは特に、財政の健全化について最優先課題として協議されてきた経緯が説明された。続いて近藤勝洪校友会本部長、島田 篤 県歯科医師会会長、三ッ林裕巳衆議院議員から各々来賓祝辞を賜った。

その後、本年は県校友会初の試みとして埼玉県人



招待された埼玉県人会の学生諸君

会の本学学生数名を、信頼の絆に結ばれた団結力の強化を図る上で招待し、各々自己紹介が行われた。続いて、昨年の叙勲受章者のうち瑞宝双光章の西村政仁会員（45回）への祝い金が、代理の岡村正美浦和支部長（71回）へ小谷田会長から贈呈された。

そして、谷野日出人元県校友会会長・現顧問（58回）の乾杯の発声にて祝宴は始まった。本年も恒例の餅つきが行われ、来賓の先生方も参加され楽しまれた。つきたての餅は食事として、またお土産としても活用され、参加者一同に大変好評であった。各人テーブルごと、あるいはテーブルを越えての昔話や世間話にしばしの間、華を咲かせていた。

そして、宴もたけなわではあったが重竹淳一県校友会副会長（68回）より手締めが行われ、寮歌が県校友会役員をはじめ学生時代に体育会部員だった先生方を中心に壇上に上がって互いに肩を組み、全員で心をつにして斉唱された。その後、招待された学生から力強いエールが送られた。

最後に黒川信良県校友会副会長（63回）の閉会の辞により、午後6時に平成31年の新年会は名残惜しくも盛況なうちに閉会となった。



講演中の戸原 雄 多摩クリニック医長

（松崎俊哉・76回記）